

シーニックバイウェイ北海道 推進協議会 意見

■シーニックバイウェイルート

「南十勝夢街道」に対する意見

○ 優れた景観資源の有無及び地域資源の優位性

有名観光地はないが、日本離れした雄大な空間のなかに、水準の高い一級品の景観資源・地域資源が多数存在する。道路からの美しい唐松林の眺め、日高山脈、豊富な水とそれを育む森と川、水産資源を有する大海原、そこに暮らす人間の営みなど、内外の訪問客に癒しを与える奥深く貴重な景観資源である。

山、牧場、畑、海からの恵みといった多様性に富み水準の高い食や、景観と相まり、一歩踏み込んでいった者にだけ味わうことができる奥深い自然・文化景観、住民の営みも、優位性のある資源である。

今後とも、本ルートが有している、これらの優れた地域資源を意識しながら、「美しい景観づくり」、「活力ある地域づくり」、「魅力ある観光空間づくり」へ、より一層活用されることに期待している。

○ 景観の質の向上、ルートのブランド化、地域の活性化について

水準の高い景観資源の発掘や活用、美化運動、四季の見所という楽しみ方の提案などといった取組を評価したい。景観には、光景と風景、情景があるが、特に本ルートには、風景と情景について期待している。

カレンダーやマップの作成、坂本画伯の活用など、ルートのブランド化に向けた多数の工夫がなされ、かつ成果を上げているが、今後は、他のルートと差別化したブランドの形成や、実質的で生活に根ざしたブランド化、東アジアからも評価されるストーリーづくりなどがさらに期待される。外部からのアドバイスの取り込みや、戦略的な情報発信、マーケティング手法の導入なども行いながら、着実に確実に活動を継続していただきたい。

地域の活性化という観点からは、人が元気になる、輪が広がるという点において着実に成果をあげている。交流の輪が広がる、経済効果が出ることも時間の問題であろうかと思うので、具体のシナリオやプログラム、活動が地域の活性化に繋がる仕組みをつくることを意識されることが望ましい。

また、日高山脈に象徴されるように、奥深いこと、総じてレベルが高いことなどの特徴が、反面、アクセスしにくいことや、真に楽しむためには、それなりの準備や訓練が必要であることなど、市場の拡大という点では弱みともなっているという側面もあり、これを魅力に転化させること、魅力を感じる層への働きかけの強化することなどが求められる。自然の楽しみ方、食の楽しみ方、農の楽しみ方、宇宙の楽しみ方を現地で学ぶということも楽しさと達成感を得るためには必要であり、これが長期滞在や「遊ぶ学校」などといったビジネスに繋がることに期待したい。

「夢の共有」というコンセプトのもとに、商工会や観光協会を中心としながら活動の輪が広がり、運営活動計画の充実と実践が進化・深化しているとともに、5町村との連携体制も充実している。今後とも、外部の意見や、情熱のある人の意見等も取り入れながら、より一層、活動の質の向上に注力されることに期待したい。